

学校における防災教育

～安心・安全な学校づくりのために～

函館市教育委員会

1 防災教育のねらい

① 知識, 思考・判断 ② 危険予測, 主体的な行動 ③ 社会貢献

■ 適切な意志決定や行動選択ができる。

■ 自らの安全を確保する行動ができる。
■ 日常的な備えができる。

■ 安全活動に進んで参加・協力・貢献できる。

2 発達の段階に応じた防災教育 ～各段階における目指す子ども像（例）～

幼稚園段階

安全に生活し、緊急時に教職員や保護者の指示に従い、落ち着いて素早く行動できる子ども



小学校段階

日常生活の様々な場面で発生する災害の危険を理解し、安全な行動ができるようにするとともに、他の人々の安全にも気配りできる子ども



中学校段階

日常の備えや的確な判断のもと、主体的に行動するとともに、地域の防災活動や災害時の助け合いの大切さを理解し、すすんで活動できる子ども



高等学校段階

安全で安心な社会づくりへの参画を意識し、地域の防災活動や災害時の支援活動において、適切な役割を自ら判断し行動できる子ども



3 防災教育のねらい①「知識、思考・判断」を育むために



■適切な意志決定や行動選択ができる■

- 自然災害の種類やその特徴の理解
- 災害発生時に身を守る方法の理解や技能の習得
- 災害に対する備えや防災対策についての理解



【幼稚園】

- ・教師の話や指示を注意して聞き理解する。
- ・日常の園生活や災害発生時の安全な行動の仕方が分かる。
- ・きまりの大切さが分かる。



【小学校】

- ・地域で起こりやすい災害や地域における過去の災害について理解し、安全な行動をとるための判断に生かすことができる。
- ・被害を軽減したり、災害後に役立つものについて理解する。

【中学校】

- ・災害発生メカニズムの基礎や諸地域の災害例から危険を理解するとともに、備えの必要性や情報の活用について考え、安全な行動をとるための判断に生かすことができる。

【高等学校】

- ・世界や日本の主な災害の歴史や原因を理解するとともに、災害時に必要な物資や支援について考え、日常生活や災害時に適切な行動をとるための判断に生かすことができる。

◆道南地区における主な災害◆

発生年月日	災害名等
平成 5年7月	○ 北海道南西沖地震 ・マグニチュード7. 8 ・推定震度6 ・地震、津波、火災 ・死者202名 ・行方不明者28名
平成23年3月	○ 東北太平洋沖地震 ・マグニチュード9. 0 ・推定震度7 ・地震、津波、火災 ・死者・行方不明者18, 517名

◆災害別留意事項（例）◆

災害名	指導のポイント例
火 災	・火災の状況に応じて、「水に濡らしたタオルで口を押さえながら、低い体勢で逃げる」など、迅速かつ安全な避難の仕方を理解する。 など
地 震	・学校（園）での生活場面ごとに危険な場所、物を具体的に取り上げ、地震が発生した場合の適切な行動について理解する。 ・上からものが落ちてこない、横からものが倒れてこない、移動してこない場所を見付け頭部を保護するなど、避難の仕方理解する。 など
津 波	・東北地方で古くから伝わる「津波でんでんこ」という言い伝えを参考に、津波が起きたらどのように行動するべきかについて理解する。 ・津波の押し寄せるスピードや破壊力など津波の危険性について理解する。 など
風水害	・洪水や崖崩れなど、過去に地域で発生した災害について調べる。 ・雷が聞こえた場合の適切な対応について理解する。 など
原子力	・戸や窓を閉める、換気扇、空調設備等を止めるなど外気を遮断すること、出入口にカーテンを付けて、外気と共に放射性物質が屋内に入らないようにすることを理解する。 など

4 防災教育のねらい②「危険予測，主体的な行動」を育むために



■自らの安全を確保する行動ができる■

■日常的な備えができる■



- 災害発生時に自分で考え，適切に判断・行動できる実践力の育成
- 状況判断し，他者の安全にも気を配って行動するスキルの育成

【幼稚園】

- ・安全・危険な場や危険を回避する行動の仕方が分かり，素早く安全に行動する。
- ・危険な状況を見付けた時，身近な大人にすぐ知らせる。



【小学校】

- ・災害時における危険を認識し，日常的な訓練等を生かして，自らの安全を確保することができる。



【中学校】

- ・日常生活において知識を基に正しく判断し，主体的に安全な行動をとることができる。
- ・被害の軽減，災害後の生活を考え備えることができる。
- ・災害時には危険を予測し，率先して避難行動をとることができる。

【高等学校】

- ・日常生活において発生する可能性のある様々な危険を予測し，回避するとともに災害時には地域や社会全体の安全について考え行動することができる。

避難訓練における「ねらい」(例)

【幼稚園】

〈ねらい(例)〉

- 3歳児：緊急時であることが分かり，担任や身近な教職員と避難する。
- 4歳児：教職員の指示を聞き，約束を意識して行動する。
- 5歳児：教職員の指示や状況を理解し，約束を守って敏捷に行動し，自分の身を守ろうとする。

【小学校】

〈ねらい(例)〉

- 避難経路を確認し，覚えるようにする。
- 避難の約束を理解し，実行できるようにする。
- 緊急放送の意味を知り，適切な避難をできるようにする。

【中学校】

〈ねらい(例)〉

- 地震のメカニズムや緊急地震速報システム等を理解させ，日頃から地震への備えをしておこうとする態度を育てる。
- 地震によって起こる危険と安全な避難の仕方について理解し，適切な行動がとれるようにする。
- 地震発生時に，校舎内で起きる落下や破損を具体的に予測し，安全な対応を考えるようにする。

【高等学校】

〈ねらい(例)〉

- 科目「保健」で学んだ傷害の防止や応急手当の知識を活用するようにする。
- 地震によって起こる危険と安全な避難の仕方について理解させ，適切な行動がとれるようにする。
- 災害時の自助・共助の基本的行動について確認を行い，リーダーシップや支援活動など，自分たちができることを考え，防災意識の向上を図るようにする。

5 防災教育のねらい③「社会貢献」を育むために



■安全活動に進んで参加・協力・貢献できる■

- 命を尊重する心の育成
- 他者を思いやる心の育成
- 防災に主体的に取り組もうとする意識の育成



【幼稚園】

- ・ 高齢者や地域の人と関わり、自分のできることをする。
- ・ 友達と協力して活動に取り組む。



育みたい気持ちや態度(例)

【幼稚園】

〈ねらい(例)〉

- 年下の幼児やお年寄りを思いやる気持ちをもつ。
- 周囲の人の様子に関心をもって行動しようとする。

【小学校】

- ・ 自他の生命を尊重し、災害時及び発生後に、他の人や集団、地域の安全に役立つことができる。



【小学校】

〈ねらい(例)〉

- 相手の立場になって助け合う。
- 学校や学級、地域の一員として自分の役割を自覚して、協力して働こうとする態度を養う。

【中学校】

- ・ 地域の防災や災害時の助け合いの重要性を理解し、主体的に活動に参加する。



【中学校】

〈ねらい(例)〉

- 温かい人間愛の精神を深める。
- 他の人々に対して思いやりの心を持つようとする道徳的態度を育てる。

【高等学校】

- ・ 事前の備えや災害時の支援について考え、積極的に地域防災や災害時の支援活動に取り組む。



【高等学校】

〈ねらい(例)〉

- 高校生ができる支援活動等を考える。
- 地域の一員としての責任を自覚する。

6 各教科等における防災教育の取扱い

① 幼稚園

領域	目 標
健康	・健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。

② 小学校

教 科	学年等	単元名等（例）
社 会	3・4	「安全なくらしとまちづくり」
	5	「わたしたちのくらしと国土」「くらしを支える情報」「環境を守る人々」
	6	「暮らしの中の政治」
理 科	5	「天気の変化」「流れる水のはたらき」
	6	「土地の作りと変化」
生 活	1・2	「がっこうだいすき」「ときどき わくわく まちたんけん」 「もっとなかよしまちたんけん」「聞いて聞かせて まちのすてき」
道 徳	全	低学年：主として他の人とのかかわりに関すること 高学年：主として自分自身に関すること
特別活動	学級活動	日常の生活や学習への適応及び健康安全
	学校行事	健康安全・体育的行事



③ 中学校

教 科	学年等	単元名等（例）
社 会	1	「日本の様々な地域」
	2	「日本の様々な地域」「身近な地域の調査」
理 科	1	「大地の変化」
	2	「天気とその変化」
保健体育	2	「傷害の防止」
技術家庭	1	「わたしたちの衣生活と住生活」
道 徳	全	主として集団や社会とのかかわりに関すること
特別活動	学級活動	適応と成長及び健康安全
	学校行事	健康安全・体育的行事

《防災教育の取扱い》

○ 関連する教科等の内容の重点の置き方を工夫したり、有機的関連を図ったりするなどして、幼稚園、小学校、中学校、高等学校の教育活動全体を通じて適切に行うように努めましょう。

④ 高等学校

教科等	内容等
地理歴史	世界史 B（世界史への扉）、地理 A（生活圏の諸課題の地理的考察）
理科	科学と人間生活（人間生活の中の科学）、地学基礎（変動する地球） 地学（地球の活動と歴史）（地球の大気と海洋）
保健体育	保健（現代社会と健康）
特別活動	ホームルーム活動（適応と成長及び健康安全）、学校行事（健康安全・体育的行事）

7 防災教育にかかわる取組例 ～地域と連携した避難訓練の実施～

函館市立西中学校

◆ 目標、指導内容等 ◆

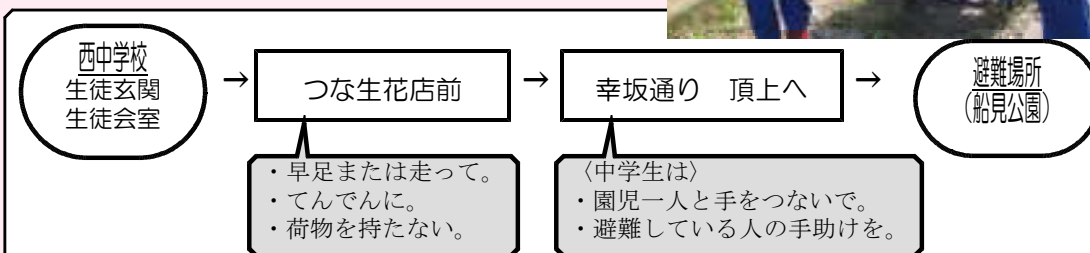
目 標	○ 東日本大震災を通して得た教訓である「普段の訓練が大切」「災害は予測できない」「学校外の機関との連携が必要である」ことを踏まえ、地域と一体となった訓練を行い、地域の一員としての役割を果たすことができるようにする。		
指 導 内 容	○ 地震発生メカニズムや危険性についての理解 ○ 被害を最小限にするための方策 ○ 火災における望ましい行動の在り方		
① 事前の危機管理(備える)			② 発生時の危機管理(命を守る)
○ 体制整備 ・保護者や地域、関係機関等と連携した体制整備 ・地域特性から予想される二次災害の洗い出し ○ 危険箇所等の点検 ○ 避難訓練の計画 ・基本行動の確認 ○ 教職員研修の実施 など			○ 体制に基づいた避難についての連絡 ・連絡実施の確認 ・二次災害への対応の確認 ○ 避難訓練の実施 ・計画に基づいた訓練の実施 ・避難場所への避難の実施 など
			③ 事後の危機管理(立て直す)
			○ 避難所協力 ・避難場所での対応の確認 ○ 保護者との連携 ・引き渡しの実施 ○ 安否確認 ・連絡、通信の実施 など



◆ 連携関係機関 ◆

・本校 ・警察署 ・消防署 ・市役所 ・町会
・民生委員 ・交通指導員 ・保育園
など

◆ 避難経路 ◆



◆ 避難所での対応 ◆

□ 全教職員で三原則…お互いの声かけ □

健康観察	人員確認	不安解消
・体調 ・けが ・持病 ・手当 ※ けが…医療班へ 救急処置は 110 番	・整列 ・点呼 → 教頭へ ・再捜索隊編成	・声かけ ・パニック 大丈夫だよ。 家族も避難しているよ。

□ 迎えに来る保護者に対して □

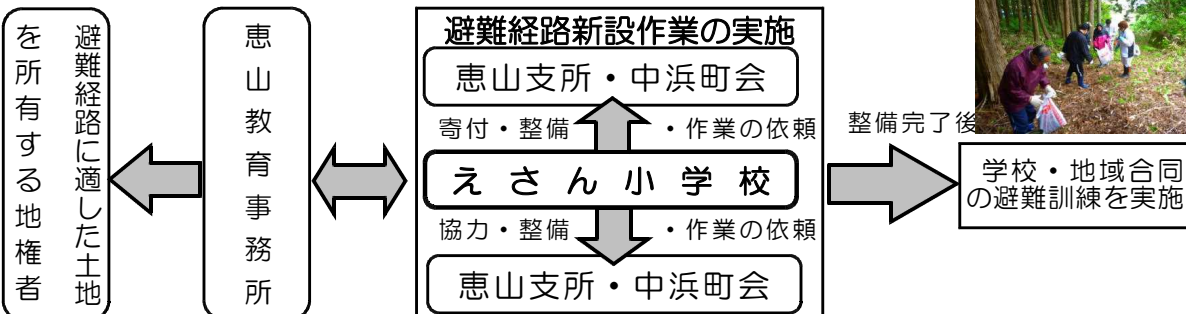
- ・〇〇先生と〇〇先生、入口で、迎えの保護者への対応をお願いします。
- ・「ここで、一緒に避難しましょう。東日本大震災では、連れて帰った子どもが亡くなっていますよ」と伝えてください。
- ・「どうしても…」と言われたら、保護者を確認の上、引き渡してください。

函館市立えさん小学校

◆ 目標、指導内容等 ◆

目標	○ 災害時における、敏速、冷静な避難の方法や行動を確実に身に付けさせる。 ○ 災害に対する理解を深め、安全を保持する能力を育てる。 ○ 防災意識の啓発を図る。		
指導内容	○ 地域に起こりやすい災害 ○ 災害発生時の適切な行動 ○ 災害に備えて自分たちができること		
(1)事前の危機管理(備える)		(2)発生時の危機管理(命を守る)	(3)事後の危機管理(立て直す)
○ 体制整備 ・保護者や地域との連携 ○ 点検 ・避難経路や避難場所の点検 ○ 避難訓練 ・児童への事前指導 ○ 教職員研修 など		○ 初期対応 ・高台等の決められた場所に避難 ○ 二次対応 ・素早い情報収集 ・臨機応変な判断と避難 など	○ 避難所協力 ・地域の防災担当者との協議 ○ 引き渡し ・保護者とのルール確認 ○ 安否確認 ・連絡、通信手段の複線化 など

◆ 活動の概要 ◆

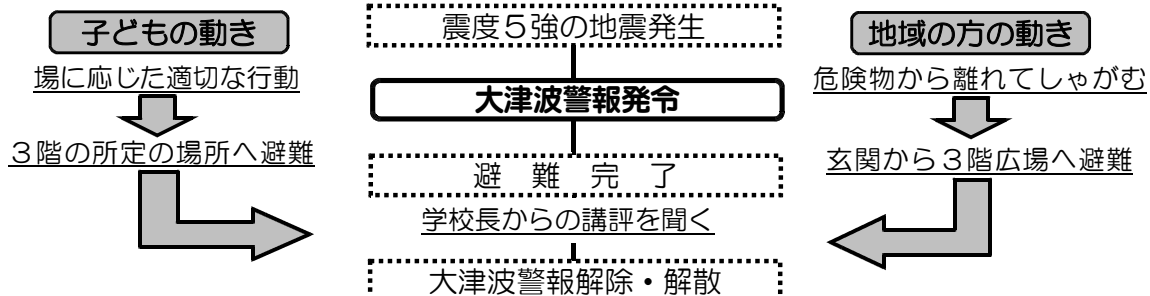


函館市立八幡小学校

◆ 目標、指導内容等 ◆

目標	○ 津波警報・大津波警報に対し、迅速かつ安全に避難する方法を知り、生命尊重の意識を高める。 ○ 避難時における集団行動の仕方を身に付けさせる。 ○ 各教室からの避難経路・避難口・避難場所を身に付けさせる。 ○ 地域の人々が学校に避難することを知り、地域との連携の意識を高める。		
指導内容	○ 災害発生時の適切な行動 ○ 二次災害を防ぐための行動 ○ 学校や家族、地域の一員としての自覚		
(1)事前の危機管理(備える)		(2)発生時の危機管理(命を守る)	(3)事後の危機管理(立て直す)
○ 体制整備 ・教職員の役割の明確化 ○ 点検 ・計画的な安全点検 ○ 避難訓練 ・児童への事前指導 ○ 教職員研修		○ 初期対応 ・校舎3階への避難 ○ 二次対応 ・素早い情報収集 ・臨機応変な判断と避難	○ 避難所協力 ・地域の防災担当者との協議 ○ 引き渡し ・保護者とのルール確認 ○ 安否確認 ・連絡、通信手段の複線化

◆ 活動の概要 ◆



8 防災教育の評価・チェックリスト

☐	防災教育を進めるための全校的な指導体制が確立されているか。
☐	防災教育の特質を踏まえ、指導のねらいが明確になっているか。
☐	防災教育を充実させるための指導時間が確保されているか。
☐	各教科における防災教育にかかわる指導内容と学級（ホームルーム）活動や学校行事等における防災教育との有機的な関連が図られ、指導の成果が一層高められるよう工夫されているか。
☐	児童生徒等の行動や災害・事故の実態、地域の特性等に即して防災教育に関する適切で具体的な内容を取り上げているか。
☐	指導に必要な教材・教具、資料等が整備されているか。
☐	障害のある児童生徒等に対して適切な配慮がなされているか。
☐	家庭・地域や関係機関・団体等との有機的な連携が図られているか。



9 防災教育にかかわる学習教材・学習参考サイト

■CD・DVD等■

- ◇「災害から命を守るために」（平成20年3月文部科学省）
小学生用（低学年・高学年）防災教育教材（CD）
- ◇「災害から命を守るために～防災教育教材（中学生用）～」（平成21年3月文部科学省）
中学校用防災教育教材（DVD）
- ◇「災害から命を守るために～防災教育教材（高校生用）～」（平成22年3月文部科学省）
高校生用防災教育教材（DVD）

■参考サイト■

- ◆防災リーフレット・学んDE防災（北海道教育委員会作成）
〈http://www.dokyo.i.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssa/manan_de_bosai.htm〉
- ◆防災教育チャレンジプラン（実行委員会事務局：京都大学防災研究所巨大災害研究センター内）
〈<http://www.bosai-study.net/top.html>〉
- ◆防災・危機管理eカレッジ（総務省 消防庁） 〈<http://open.fdma.go.jp/e-college/>〉
- ◆国土交通省（気象庁） 〈<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>〉
- ◆防災情報のページ（内閣府） 〈<http://www.bousai.go.jp/>〉
- ◆震災資料室（神戸市） 〈<http://www.city.kobe.lg.jp/safety/hanshinawaji/data/>〉
- ◆防災キッズミュージアム（阪神淡路大震災記念） 〈<http://www.dri.ne.jp/kids/>〉
- ◆地球キッズ探検隊（地震調査研究本部） 〈<http://www.jishin.go.jp/kids/>〉
- ◆3つき11にちをわすれないためにセンター（せんだいメディアテーク）
〈<http://recorder311.smt.jp/>〉
- ◆震災伝承館（国土交通省東北地方整備局） 〈<http://infra-archive311.jp/>〉
- ◆防災教育支援ポータル 〈<http://www.jishin.go.jp/main/bosai/kyoiku-shien/bosai.html>〉
- ◆防災教育コレクション（独立行政法人防災科学技術研究所 自然災害情報室）
〈<http://dil-opac.bosai.go.jp/documents/education/>〉

